

議会だより



主な内容

- 12月定例会・主な議案 …………… 2
- 一般質問 …………… 3～11
- 委員会報告のあらまし…………… 12～13
- 筑西市友好親善交流会・お知らせ …… 14

平成25年高梁市成人祝賀式

平成25年高梁市成人祝賀式が1月13日に高梁総合文化会館で開催され、新成人301名が責任と自覚を持って新たにスタートすることを誓いました。

晴れ着や真新しいスーツに身を包んだ新成人たちは、笑顔で同級生らと再会。近況を報告しあったり、記念写真を撮るなど、思い出に残るひとときを過ごしていました。

平成24年12月高梁市議会 主な議案の概要

平成24年第8回高梁市議会（定例）は、12月4日から21日まで開催され、平成24年度一般会計補正予算など議案22件、請願3件、陳情1件を審議しました。審議結果については、議案22件をすべて承認・可決し、請願3件のうち1件を採択、2件を不採択とし、陳情1件については継続審査としました。また、議員発議の議案3件は、原案のとおり可決しました。

●高梁市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例

平成19年4月から休止している川上診療所内の病床（19床）を廃止するもので、全会一致で可決しました。この病床は今後改装し、高

齢者向け住宅として活用されることとなります。

●平成24年度高梁市一般会計補正予算（第5号）

一般会計予算に1億3383万円を追加し、歳入歳出予算の総額を234億668万4

000円とするもので、総務費では、方谷さんを広める会補助金60万円（山田方谷の大河ドラマ化に向けた要望活動への補助）、民生費では、災害時要援護者支援システム整備委託料450万円（災害時要援護者名簿をシステム化するもの）、衛生費では、不妊症対

策支援事業補助金120万円（4件追加）、教育費では、旧備中松山藩御茶屋整備工事費279万5000円、高梁運動公園整備工事費500万円（テニスコート人工芝の一部補修）など、新規事業や拡充された事業、事業費の確定により減額されたものなどで、質疑では、全般にわたって多くの質問が出されましたが、特に衛生費の中に計上された健康増進施設運営費745万4000円の内容や予算計上に至る経過について、詳しい説明を求める意見が出されました。執行部からは、前指定管理者が独自に整備した施設や備品などの残存価格等を考慮し

て、予算計上したものであるとの答弁がありました。採決では、国の扶養控除の一部廃止に伴い市税の増額が見込まれている。また、健康増進施設関連の予算が計上されていることから、この補正予算を認める訳にはいかないとの反対意見もありましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。旧市営住宅の使用貸借契約が満了した入居者に対して、住宅の明け渡し請求訴訟を提起するもので、賛成多数で可決しました。

●訴えの提起について

平成24年12月定例議会の議決結果

議案番号	議案第117号	議案第129号	請願第3号	請願第4号	件名
	平成24年度高梁市一般会計予算（第5号）	訴えの提起について	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める請願	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める請願	
石井	○	○	●	○	
石部	●	●	○	○	
石田	○	○	●	●	
黒川	○	○	●	●	
三村	○	○	●	●	
内田	○	○	●	●	
宮田好	○	○	○	○	
森田	○	○	●	●	
大森	○	○	●	●	
長江	○	○	●	●	
柳井	○	○	●	●	
倉野	○	○	●	●	
川上修	○	○	●	●	
宮田公	○	○	●	●	
川上博	○	○	●	●	
大月	○	○	●	●	
妹尾	○	○	●	●	
難波	●	●	○	○	

※他の議案は全会一致で可決
○賛成、●反対

12月定例議会・一般質問の概要

市政のここが聞きたい!

一般質問

12月定例議会では、12月10日・11日・12日の3日間にわたり16名の議員がそれぞれの視点・観点から一般質問を行いました。
掲載している各議員の記事は、質問者自らが作成したものです。

発言順	議員名	質問事項
1	大森 一生	<ul style="list-style-type: none"> ● 国における経済、財政、金融政策とそれにかかわる地方自治体と高梁市の現状とその方向性について ● 高梁市における地域振興（地域経済活性化）モデルと地域ブランドの確立について
2	長江 和幸	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育行政に関する所信について ● ノーテレビデー、ノーゲームデーについて ● 不登校の児童・生徒対策について ● スポーツ施設の整備について
3	石井 聡美	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT活用地区について ● 緊急時の医療情報提供について ● 産業振興の拠点づくりについて ● 観光施設の整備について
4	黒川 康司	<ul style="list-style-type: none"> ● 成羽病院について
5	倉野 嗣雄	<ul style="list-style-type: none"> ● 高梁市のスマートコミュニティについて ● 農業振興について ● 地域コミュニティの維持について
6	難波 英夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市の基幹産業である農業の再生について ● 市民のくらしも命も地域も壊してしまうTPPについて ● 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の経営破綻と今後について ● だれもが安心して子どもを産み育てられる公的保育の拡充について ● 市民に希望を与える災害対策について
7	森田 仲一	<ul style="list-style-type: none"> ● 備中高梁駅バリアフリーに関連しての諸整備について ● 使命の終わった公施設の活用について
8	川上 修一	<ul style="list-style-type: none"> ● 合併特例債のソフト事業充当について
9	石部 誠	<ul style="list-style-type: none"> ● 消費税の増税について ● 市民に知らせる問題について ● 大型事業の今後について ● ごみ問題について
10	宮田 好夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 近藤市政2期目にあたって ● 健康づくりについて ● 総合計画について ● 産業廃棄物最終処分場計画について ● まちづくりについて
11	内田 大治	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育行政について ● 町内会活動奨励金制度について
12	三村 靖行	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業誘致対策について ● 観光行政の推進について
13	妹尾 直言	<ul style="list-style-type: none"> ● 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」問題について ● 市長の市政運営の方向性について ● 成羽病院について
14	宮田 公人	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の幼稚園での給食実施の現状と今後の実施計画について ● 成羽病院について ● 人口減少時代における学校施設の有効活用について ● 子育て施策について
15	石田 芳生	<ul style="list-style-type: none"> ● 快適な住環境の整備について
16	川上 博司	<ul style="list-style-type: none"> ● 来年度の予算編成について ● 消費者教育の推進について ● 空き家対策について ● 住民票、印鑑登録証明書のコンビニ交付について

問 ノーテレビデー、
ノーゲームデーについて

長江和幸 議員



答 家庭への働きかけを校園長会で指示している



「教育のまち高梁」を目指して

私の夢は責任を自覚し、情熱を持ち、高梁の

教育、国が栄えるも衰退するも教育である。これまで経験したことを生かし教育行政にあたっていく。

教育長 国づくりは人づくり、

教育長の所信について
長江 教育長に再任され今後4年間どのような姿

勢で教育行政に取り組みか、どのような夢をお持ちか。

教育長 各学校で担任を中心に家庭訪問、電話連絡を行っており、不登校

不登校の児童・生徒の対策について
長江 知事は、「教育再生」に取り組み教育県岡山の復活を掲げている。高梁市は、不登校の児童・生徒にどのように取り組んでいるのか。

教育は素晴らしい、高梁で教育を受けさせたいと言われるような「教育のまち高梁」の実現である。

か。

ノーテレビデー、ノーゲームデーについて
長江 ノーテレビデー、ノーゲームデーは、家族のふれあいや本に親しむ時間を増やし、我慢することを教える意味でも必要であると思うがどう

は年々減少している。今後、不登校に関する教員の指導力向上を図るため県の施策を活用し、問題の解消に努めていきたい。



規範意識を培う意味でも、家庭への働きかけを校園長会で指示している。

教育長 本市では平日3時間以上、テレビやDVDを観ている子どもたちが47・4%いる。我慢する気持ち、忍耐力を育てることは大切である。規範意識を培う意味でも、

問 住民福祉を前提とした優位性のあるものを生かした地域振興モデルの構築と持続可能性のある地域ブランドの確立を

大森一生 議員



答 目指すべき方向であると思っている

大森 交流人口100万人を目指すとしているが、需要に対して地域の供給能力が乏しい状況にあるのではないか。

市長 高梁市内でお金が循環するような、経済対策や福祉対策を進めていきたい。

大森 日本は失われた20年と言われ、大変厳しい状況になっているが、これからの高梁市の方向性についてはどうか。

市長 官・民一体となって頑張っていきたい。

大森 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の現在の価値の分析とその可能性の検討を。低コストで運営できるようにリノベーション(新しい

朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の活用について

大森 現駅舎解体撤去について情報が錯綜しているが、再度確認する。

市長 現駅舎は解体撤去し、西口広場整備を進める。

大森 優位性のある地域

「懐かしい未来都市高梁の創造とリノベーション」という地域振興モデルの構築と地域ブランドの確立を

市長 よい提案をいただいた。新しい付加価値をつけることによつて住民福祉の向上を図ることは重要であり、早急に検討したい。

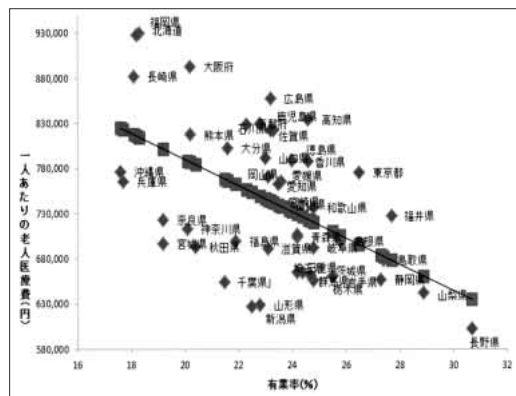
付加価値の構築し、住民福祉をセットにした再生活用を考えてはどうか。

市長 これからの高梁市が進むべき方向であると思う。いろいろなものを

ブランドの確立と、それを核とした高齢化社会にも対応したスロウなまちづくりと、ツーリズム型と福祉型サービスの産業の連携による地域資源を生かした産業振興の構築を。

都道府県別高齢者の有業率と一人当たり老人医療費

組み合わせることによる産業振興を各部署とも連携しながら考えていく。



都道府県別高齢者の有業率と一人当たり老人医療費



問 成羽病院の運営形態の方向性について

黒川康司 議員

答 運営形態について公営企業法の全部適用としていく



南東側から見た成羽病院外観

成羽病院について
黒川 成羽病院の運営形態は、現在地方公営企業

法の一部適用（財務）であるが、今後もこの形態で運営するの。また、全部適用とする

場合の事業管理者選定の方向性と時期はどうか。

市長 公立病院改革プランにおいて病院事業管理者を選定し、地方公営企業法の全部適用としての方向性が示された。平成23

年度からの全部適用を目指すし、病院事業管理者の選定について鋭意努力してきたが病院経営全体にかかることであり、適任者の選定に手間取っている状況である。今後においても方向性は地方公営企業法の全部適用とし、そのもとで成羽病院の経営を行っていく考えである。このため事業管理者を関係機関へお願いしているところで、まだ決まっていないうことについては大変申し訳なく思っ



新病院の外来待合付近

黒川 外科医師である現在の院長が平成25年3月で退職されると聞いていますが、後任の外科医師は

決定しているのか。
病院事務長 手術、外傷といった病状に対応していくためにも常勤の外科医師の確保は重要な課題と考えている。全国的な医師不足の中、常勤医師の確保は大変厳しいものがあるが、岡山県や現在派遣を受けている岡山大学病院などの関係機関へ市長自ら足を運んで医師の招聘に向けて鋭意努力しており、現在、候補者の医師と面談を重ね交渉しているところである。



問 楢井の展望台付近の伐採が必要では

石井聡美 議員

答 関係機関と協議して対応したい

産業振興の拠点づくりについて
石井 産業振興は企業誘致だけに頼っている時代ではない。企業を誘致するだけではなく、市の中から産業を興していく必要がある。高梁市で商売や会社を始めたいと思っ

ては、若い人たちがへの支援策はあるのか。
産業経済部長 全市的な定住人口増加のために「住みたいまち高梁創造ネットワーク」という団体の調査を進めている。
まとも次第、市のホームページを通じて情報を発信していく。
石井 資金的な支援についてはどうか。
産業経済部長 現在は商店街の空き店舗を活用した場合、12カ月間、家賃の2分の1を助成している。こういった制度を全市的に広げていくことも必要だと認識している。

観光施設の整備について
石井 駅前再開発に合わせて、NTT西日本のビルを観光センターとして活用できないか。
産業経済部長 転用は難しい。現在は駅前と観光

石井 市や観光協会のホームページに掲載されている雲海の備中松山城は、現在、撮影場所に木が繁り過ぎて見ることができない。掲載している以上、整備が必要ではないか。
産業経済部長 近年、意図的に雲海の中の備中松山城をPRしてきたこともあり、その場所に行っ



楢井の展望台では繁った国有林が眺望を阻害している

てみたいという方が増えている。展望台の前は国有林になつているため、今後関係機関と協議して、十分な眺望を得られるようにしていきたい。

問 本市の基幹産業である農業の再生について

難波英夫 議員



答 現行の制度を活用し農業の推進をする

農業施策について
難波 本市の農業は全体として衰退の一途であり、荒廃農地も年々増加している。今、再生のための施策をしなければ農業はもちろん、農村集落の維持すらできなくなる状況だ。これをどのように認識し、どう対処するのか。
産業経済部長 人・農地プラン計画の作成による農地の集積化と新規農業者の定着を図りたい。また農産物のブランド化にも取り組む。

認定農業者制度について
難波 農業再生に必要な施策の対象者はほとんどが「認定農業者」だが、全ての農家を「認定農業者」として支援すべきではないか。
産業経済部長 「認定農業者」の認定は、農業経営基盤強化促進法に基づくものであり、決して農業者を選別するということではなく、あくまで農業経営で一定の収入を確保する人材の育成を目指している。

コメの価格保障について
難波 農業の再生には儲かる経営ができること、それには生産費を補う農産物の価格保障が必要だ。市の農産物価格保障制度を本格的に検討するように求める。
産業経済部長 直接的な価格保障ではないが、農業者への戸別所得補償制度を推進しており、そちらで対応したい。
難波 コメの価格保障・所得補償制度の拡充を国に求めよ。

市長 国の制度活用を進める。国への要望は現在考えていない。
TPPについて
難波 TPPについては、市民の暮らし・命・地域も壊す内容が明らかになってきており、J A、森林組合などの反対運動が大きくなっている。市としてもTPP反対を国に求めよ。
政策統括監 農業や地域基盤に大きな影響を及ぼすことは承知している。

市長も現段階でのTPP参加には反対である、国に対しては今後の動向を見極め、必要があればしるべき措置をとる。
難波 政府は「BSE」対策としてのアメリカ産牛肉の輸入制限を、現在の20カ月齢以下から30カ月齢まで緩和するとしている。アメリカでは牛の全頭検査もトレーサビリティもなく、日本とは比較にならない。反対の表明を。
産業経済部長 今後の動向を注視したい。

問 スマートコミュニティの実現を!

倉野嗣雄 議員



答 平成25年度予算までには方向性を定めたい

高梁市のスマートコミュニティについて
倉野 スマートコミュニティについて、6月定例議会で質問したが、その後の取り組みはどのようになっているのか。
市長 事業実施のための民間事業者や候補地の選定作業を進めることとしている。
倉野 平成25年度の予算編成がなされているが、来年度の予算化はされるのか。
市長 市議会議員有志による勉強会があると聞いて

いる。その結果も踏まえて判断するが、まずは基本構想を策定したい。
倉野 市長が有漢地域にスマートコミュニティをと口にされている。ぜひ、実現していただきたい。
市長 平成25年度予算までには方向性を定めたい。
地域コミュニティの維持について
倉野 地域の集会所に太陽光発電システムの設置はできないか。
市民生活部長 太陽光発電

電システムに対する補助事業は個人住宅が主で、それもまだ十分ではない。今後研究させていきたい。
倉野 地域によっては少子高齢化の中で限界集落に近い所が増えつつある。集会所への太陽光発電システム設置に2割程度の補助金を出せないか。
市長 地域集会所への支援制度についても研究検討していきたい。
倉野 国も新エネルギーを推進する時代であり、

国庫の補助対象となるよう努力していただきたい。
農業振興について
倉野 だるまささげ豆は真庭市の事業者が山田方谷豆として関東などで販売している。折しも、高梁では山田方谷のドラマ化を進めている時期でもあり、このだるまささげ豆を高梁ブランドの豆として推奨してはどうか。
産業経済部長 高梁市では既にJ Aや商工会議所

などと連携して備中夢大納言小豆を推奨している。今後、栽培方法や販路などを研究して本市に適しているかどうか検討したい。
倉野 ぜひ、高梁ブランドとして取り組んでいただきたい。



山田方谷のイラスト入り「だるまささげ豆」



問 合併特例債(地域振興基金)運用について

川上修一 議員

答 まちづくり協議会と話し合いをしながら今後の方向性を探る

合併特例債(地域振興基金)運用について
川上 地域振興基金が当初の運用と形が変わっていったのはなぜか。
市民生活部長 合併特例債を利用した地域振興基金は、平成16年1市4町において周辺地域の不安や寂れ感をなくすことを目的に創設された。合併協議を進める中で、合併説明会や座談会において地域振興基金が地域ごとの裁量で自由に使用ができるような捉え

方もあったと聞き及んでいる。現状は合併後の調整により基金の配分や活用方針を立て、取り崩しをしながらまちづくりに使っている。
川上 地域振興基金の運用について見直しを行うことはできないか。
市民生活部長 地域振興基金の活用については、各地区のまちづくり協議会が地元の意向を受け計画を策定し、その計画を受けて市全体での事業費査定と、内容の検討を行

い実施している。また、現在は事業審査委員会を設置し、地域のまちづくり事業とすべきか、市が取り組むべきかの見直しを進めている。20億円程度の基金を積んでいるが、できるだけ長く使えるよう、まちづくり協議会の連絡会等で十分話し合いをしながら、今後の方向を探っていく必要があると考えている。
川上 地域振興基金の活用と、まちづくり協議会

のあり方について市長の考えを問う。
市長 合併特例法に基づく法定の協議会にかわるものとして、このまちづくり協議会を設置させていただいていると理解している。
 そして、この協議会において地域ごとのまちづくりをしつかりと考えていただき、市長に対しても意見を述べる事が本来の業務と考える。さらに、地域ごとの課題解決もまちづくり協議会の役

割と考えている。
 合併特例債による基金事業は、各まちづくり協議会が集約したものを予算化している。細かい課題については地域局長調整費などを活用していただきたい。
 いずれにせよ、まちづくり協議会と行政の役割については、今後も検討を進めなければならないと考えている。



問 支障移転対象となる駅舎を、現駅舎の趣を残した外観にできないか

森田仲一 議員

答 今後実施する協議の場で強く要望する

備中高梁駅バリアフリーに関連しての諸整備について
森田 高梁駅バリアフリー化に関連する駅前広場整備における測量設計委託費・諸施設整備負担金の債務負担行為が6月議会において可決された。9月25日にはJR西日本との基本協定が締結されているが、今後実施される施設整備の詳細内容についてはどこまで関わる事ができるのか。
市長 協定締結の後、基

本計画の協議に入ることとしている。当然高梁市の意見は申し述べる。ただ、躯体等基本的な部分についてはJR施設となるので関連法令に則り、JR側が実施されるものと考えているが、協議段階で高梁市の希望や要望は申し入れる。
森田 バリアフリー化に伴い支障移転対象となる駅舎の外観について、市民からは現駅舎の趣を残した外観にしてほしいとの声がある。現駅舎は高

梁駅建設当初からの愛着ある外観であり、また映画「男はつらいよ」のロケ地として使われた表玄関でもある。駅舎改修にあたっては、JR側の施設であり施工もJRが行うと言われているが、現駅舎の趣を残すよう実施設計段階で高梁市の協議要望は可能なのか。
市長 これから実施していく設計協議の中で現駅舎の趣をどのように組み込むのか、また都市計画に基づいた駅前広場整備

に加える形で現駅舎の趣を生かしていくかを総合的に考えていきたい。JRとの協議の場で直接、高梁市の考え方を申し上げたい。
森田 バリアフリー化は高齢者等弱者にとつては必要な事業である。逆に利用者の多くを占める学生・健常者にとつては、現在より動線が長くなり不便となる。現在、設置してある1番ホームへ直結している改札口を残すようJRとの協議はでき

ないのか。
産業経済部長 基本設計時点で現改札を残すことはできないかとの協議をしてきたが、自動改札を利用しない乗客、トラブル時の対応など職員が必要となり人員を配置しなくてはならないため、対応不可能との回答をいただいている。ご理解をいただきたい。



問 FC高梁吉備国際大学
シャルムへの支援について

宮田好夫 議員



答 美作市の対応を参考としたい

宮田 市長は2期目に当たって、今まで以上に市民の意見や提案を取り入れるため、広聴機能の充実を図ると述べているが、どのような手法で実施されるのか。

市長 1期目から行っている「市長と語るう会」などを積極的に開催し、市民の声を聴いていきたい。また「市政へのアイデア便」などを通じて市民の提案も受けていきたい。

宮田 市民から出された意見や提案は、どのように処理しているのか。

市長 語ろう会で出された意見で即答できるものは、その場で意見交換させていた。また即答できないものは、協議して後日回答している。

宮田 アイデア便についても同様の対応をしており、市民の提案から新規事業となったものも複数ある。



サッカー交流人口の増加が期待できる。

今後の支援について、湯郷ベルの本拠地である美作市の体制を調査してはどうか。

政策統括監 美作市の対応は大変参考になると思

うので、早急に調査したい。

宮田 健康増進施設朝霧温泉「ゆ・ら・ら」が12月末で閉館するが、同施設で行われている健康づくり教室は場所を変更してでも継続すべきと考えるが、今後の対応を聞きたい。

市民生活部長 教室の利用者からも継続してほしいとの要望書が提出され



ている。市として継続することを前提に、実施場所や教室の内容について検討しているところである。

問 大型事業は時間をかけて
検討すべき

石部 誠 議員



答 総合計画及び都市ビジョンに基づいて実施していく

消費税の増税について

石部 市民生活に大きな影響があり、国に対して消費税増税を行わないよう申し入れるべきではないか。

政策統括監 選挙後の状況を注視し、現段階では申し入れは考えていない。

大型事業について

石部 庁舎建設・駅周辺整備・図書館建設と大型事業が連続して計画されているが、不景気なときに急いで行う必要がある

駅周辺整備について

石部 駅周辺整備は、駅舎・駅前広場・図書館・都市計画の4つの計画がそれぞれに進められているために問題が多い。大型事業を進める立場からではないが、この区域全体を、総合的な見地から進めるためにも時間をかけ

市長 財政的には市民生活に影響は及ぼさない。必要なものを、住民の意見を聞いて進めていく。

て検討してはどうか。

総務部長 それぞれの計画が錯綜しているとの指摘だが、包括的に取りまとめる組織をつくって推進する。

市長 高梁市の総合計画に基づき進めている。策定した都市ビジョンに基づいて実施していく。

市民に知らせる問題について

石部 広報たかはし・ごみの分別カレンダー・選挙公報・火災警報器の配

配布物一覧（全世帯数 14, 121世帯）

配布物名	配布数
広報たかはし（701町内）	11, 542部
ごみ分別カレンダー（833町内）	14, 850部
選挙公報	12, 696部
火災警報器	9, 631個

布戸数はいくらか。また町内会がないところや、

借家にお住まいの方などには届いていないなど、配布戸数に大きな差があるが改善できないか。

市長 市民には同じように情報をお届けしないとイケない。早急に改善する。

ごみ問題について

石部 高齢者、障害者はごみを出すのに苦労しているが、戸別収集を始めるべきではないか。

市民生活部長 高齢者の便宜を図るために研究を進めていきたい。



問 企業誘致対策について

三村靖行 議員

答 企業誘致は必要、進めていきたい

雇用の場の拡大について
三村 人口減少の要因は、働く場所、雇用の場所が不十分であるからだと考えられる。人口減少を鈍化させるには、企業誘致が最優先施策と考える。今まで以上に早急に取り組んでいただきたい。

三村 企業誘致は必要であり、これからの誘致すべく努めていきたい。また用地の確保など適地の選定も検討したい。

市長 企業誘致は必要であり、情報収集は大事なことであるので現在の担当部署の充実が必要である。しかし、行革を行っている中で新たな課をつくることは検討課題でもある。今後、どうあるべきか仕組みを考えていきたい。

三村 緑地帯を整備すれば多くの観光客が訪れる。



北側から段町の緑地帯を望む



問 中学校の統廃合の方向性を示す時期ではないか

内田大治 議員

答 機運が盛り上がり、適切とらえたときに取り組む

教育行政について
内田 近藤市政2期目にあたり、重点施策として「教育環境、地域環境整備充実」を掲げている。本市において最も重要なことは適切な学校配置をすることであると思う。特に中学校における適切な配置についてはどのように認識されているか。

教育長 いずれ統廃合をする時期がくる。避けて通れないことである。
内田 中学校生活は心身に及びに学力の発達期に集中しているのか。

教育長 現状においては、具体的な計画については言及はしない。
機運の盛り上がりが必要であると同時に適切な時期に取り組みをする。



城南高校川上校地へ仮移転中の川上中学校

町内会活動奨励金制度について
内田 旧川上郡内において、早期に中学校統合が行われた場合、現在進行している川上中学校改築事業が無駄な設備投資とならないよう十分な検討をしていただきたい。

市長 今後のコミュニケーションづくり、町づくりのきっかけとなると考えている。課題を見直し、検討して取り組んでいきたい。

問 幼稚園給食の全市実施に向けた計画を問う

宮田公人 議員



答 施設改修を行い平成27年度には全園で実施する

市内の幼稚園での給食実施の現状と今後の実施計画について
宮田 幼稚園給食の実施から7カ月が経過したが、各園へのアンケート調査結果はどうだったのか。
教育長 給食当番による幼児の責任感の芽生えやマナーの習得など、小学校へのスムーズなつながりができている。200ccのビン牛乳から100ccのパック牛乳への変更や、施設改善を望む意見

もある。おおむね試行園では良好な状態で進んでいる。
宮田 全園実施に向けて来年度の実施計画はどうなるのか。
教育長 残る6園についても順次、施設改修を行い、平成27年度には全園で実施する。
成羽高等学校跡地利用について
宮田 合併以来すでに8年。できないことを長々とやるのならば、一旦仕

切り直してもいいのではないか。
市民生活部長 教育・福祉利用という考え方で進めていきたい。
中学校の統合再編について
宮田 学校統合について「機運が高まれば」という答弁があったが、その機運とは何か。
教育長 学校統合等に向けてのご理解をいただけた。土壌を機運と申し上げた。

宮田 総論において、いつかは学校統合を行わざるを得ないときがくるという共通認識があるのなら、今の段階で我々がきちんと将来に向けて目鼻をつけておく。また、適切な方策を今のうちにとる。それが長のなすべきことではないか。
教育長 議員のおっしゃることも踏まえ、適切な時期を見ながら進めさせていただきます。

成羽病院について
宮田 経営形態について現時点で大きな問題がないのならば、公営企業法の一部適用のままではないか。
市長 現時点では公営企業法の全部適用という考え方に変わりはない。
宮田 事が動かないのなら、政治的な判断も含め、旭川荘に対して、まず何らかの動きを起こすべきではないか。
市長 貴重な示唆の一つとして受け取らせていただく。

問 「ゆ・ら・ら」は廃止も含めた検証検討を

妹尾直言 議員



答 温浴施設として、存続は無理である

朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について
妹尾 いろいろと紆余曲折しながら指定管理者を選定して、1年半で休館に至った。当初の計画では年間14万人の集客予定であったが、結果7万5000人であったということは見込みと計画が甘かったのではないか。
 指定管理者側は、市の十分な協力がなかったと言いい、市側はできる限りの支援協力を行ってきたと言いい、食い違いがある。

今後は十分な検証検討を行い、廃止も含めた決断が必要ではないか。
市民生活部長 平成23年12月に指定管理者から経営が大変厳しいと聞かされ、市としてはできる限りの協力はしてきた。当初の計画値の見込みが甘かったと感じている。
市長 温浴施設としての運用は無理ではあるが、他に活用方法があると考えている。早急に検討の場を設けて方向性を出していきたい。

成羽病院について
妹尾 地方公営企業法の全部適用で運営するにあたって、事業管理者の選任がまだ決まっていない。また、現院長が平成25年3月に退任されるということだが、どのようなことになっているのか。
病院事務長 現在、全部適用と事業管理者の選任に向けて鋭意努力しているところである。
妹尾 以前は旭川荘へお願いしているということだったが、その後はどの

ようになっているのか。
市長 現在でも引き続き旭川荘にお願いしているところである。
市政運営の方向性について
妹尾 成羽高等学校跡地は県から借り受け、福祉関係に活用していくということだったが、どのようにになっているのか。
市民生活部長 教育・福



祉での活用という行政目的をもって借り初めで、平成25年度初めまでには結論を出したい。
妹尾 庁舎建設・駅整備・図書館建設という箱物行政が進み、中心部だけの施策が目立ち、周辺地域では不協和音が多く聞かれる。都市ビジョンの「地域編」はいつまでにつくるのか。
総務部長 総合計画に基づいて施策を展開している。「地域編」は今年度末を目途に取りまとめる。



問 空き家対策に取り組んでいくべきではないか!

川上博司 議員

答 窓口を明確にし、対策を研究していく



川上 現在、問題を抱えている空き家は市内に相

当数あるのではないかと。市の窓口はどこなのか。

空き家の現状をどのように把握しているのか。市民からの苦情等は把握されているのか。

市民生活部長 市民からは数件の相談を受けている。窓口は一本化できていないのでわかりやすくしていく必要がある。

川上 所有者に対して適正管理を促す「空き家対策条例」

を制定すべきではないか。

市民生活部長 他の自治体では、所有者に対して一歩踏み込んだ働きかけを行い、管理を求めたり、撤去を命令する条例を制定していることは承知している。十分研究していきたい。

川上 多様化する住民の行政ニーズに対応するために、住民票、印鑑登録証明書などをコンビニエンスストアで交付できるようにすべきではない

か。これにより、全国のコンビニエンスストアで証明書等を受け取ることができ、役所の閉庁時間を気にすることなく利用できるようなものではないか。

市民生活部長 住民基本台帳カードの所有者が非常に少ないのと、コンビニエンスストアが近くにない地域も多くあり、本市で対応すべきことなのか疑問である。



システム構築の経費も約2400万円かかるため、現段階では難しいと考える。



問 老朽化した公営住宅は高齢者に対応した整備がなされているか

石田芳生 議員

答 改修は順次進めている。建て替えは財源、用地等総合的観点から判断する

快適な住環境の整備について

石田 公営住宅には高齢者の入居者が多い。近年「住生活基本法」や「住宅セーフティネット法」が制定され、高齢者や子どもを育成する家庭等の居住の安定が確保されるよう定められている。また岡山県は「岡山県住生活基本計画」を策定しており、本市も新総合計画のもと、「高梁市地域住宅等整備計画」や「高梁市公営住宅等長寿

産業経済部長 耐用年数を経過した住宅は16団地で107戸あるが入居者は多い。適切な修繕、維持管理を行っている。今後も長寿命化計画の中で建て替え、統合、廃止、

命化計画」を策定して公営住宅整備に取り組んでいる。その一方で、現状では築後40年以上経過し、耐用年数を経過したと思われる市営住宅でも入居者募集が続いているが、入居者の安全安心は確保されているのか。

修繕、維持管理を行っていく。



老朽化した市営天神ヶ丘住宅

石田 成羽地域の天神ヶ丘住宅も築後40年以上経過している。しかしバリアフリー化工事等がなされていないがどうなっ

ているのか。

産業経済部長 天神ヶ丘住宅は建て替えを計画しているため、バリアフリー化の工事はしていない。建て替えについては建物の安全性、財源、用地、居住者の意向などを総合的に判断して行う。

石田 若者の定住支援策が功を奏してきているが、市内に何十年も住み続けている高齢者が「長生きしてよかった」と思えるような公営住宅整備もお願いしたい。

委員会報告

総務文教委員会の
審議のあらまし

議案第117号
「平成24年度高梁市一般
会計補正予算(第5号)」

◎委員 消防費の臨時賃金の減額による業務への影響について詳しい説明を求める。

◆執行部 臨時職員は被災された東北の方、もしくは失業された方という募集条件で当初3名を予定し、県に申請していたが1名減員で2名となった。業務については、震災・防災関係の広報や、地震体験車を使用して、自らが体験した震災の恐ろしさを広く伝えることが主なもので業務への支障はない。



整備された旧備中松山藩御茶屋

◎委員 旧備中松山藩御茶屋整備工事費について具体的な説明を求める。

◆執行部 御茶屋の建物の工事は、ほぼ完成している。今回の工事費は、進入路にある橋の強度不足による架け替え工事にかかるものである。

◎委員 高梁運動公園整備工事について、詳しい説明を求める。

◆執行部 今回の整備工事は、高梁運動公園にあるテニスコートの整備として、4面すべてのベースライン部分の人工芝の張り替えを行うものである。

産業経済委員会の
審議のあらまし

議案第129号
「訴えの提起について」

◎委員 旧市営住宅の明け渡しを求めているが、この訴訟に至った経緯などについて詳しい説明を求める。

◆執行部 この住宅については平成14年に用途廃止をされており、普通財産として相手方と使用貸借契約を結んでいた。住宅は昭和21年に建設されたもので、老朽化が激しく危険である。また、この地に市が他の事業を計画していることもあり、平成23年2月から交渉を始め退去を促してきた。平成23年3月末で契約期間が切れる予定であったが、移転に要する準備期間が必要という要望があり、8月末まで期間の延長を行った。9月以降は、他

の市営住宅への入居契約を結び、家賃については支払っていただいているが、そちらの住宅へは転居されない状況である。

その後の交渉の中で、期限を明確にした確約書をいただいたが、その期限が過ぎても退去されず、調停を行ったが不成立となり、不法占拠という状態が続いている。入居者の方は現状が適法でないこと、出て行かないといけないことは認識されている。このように、何度も交渉を重ねてきたが退去されず、市の顧問弁護士等に相談し、今回明け渡しの請求訴訟を提起するに至った。

◎委員 川上診療所の入院病床を廃止し、高齢者向け住宅として整備することは制度的に問題はないのか。

◆執行部 川上診療所は補助金、起債などを活用して建設されているが、建設から14年が経過している。高齢者福祉のために活用するのであれば、建設から10年以上経過しており補助金の返還や起債の繰り上げ償還を行う必要は生じない。

市民生活委員会の
審議のあらまし

議案第113号
「高梁市国民健康保険
診療所条例の一部を改正する条例」



高齢者住宅に改修される川上診療所2階フロア

**議案第117号
「平成24年度高梁市一般会計補正予算(第5号)」**

◎委員 健康増進施設朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の前指定管理者と結ばれた協定書の提出を求めるとともに、前指定管理者が独自に整備した設備、備品を購入しなければならぬ理由と購入価格の積算根拠について詳しい説明を求める。

◆執行部 前指定管理者の指定管理期間は平成22年3月31日に満了したが、その際、前指定管理者から独自に投資し整備した設備、備品費用の償還請求があった。市としては、指定管理者が独自に投資したものについては、協定書に基づき最終的には市に帰属するものと考えていたが、協議の過程で弁護士に相談した結果、協定書には求償権につい

ての定めがなく、民法の定めにより償還すべきであるとの見解が出された。これを受け、双方の弁護士による償還金額の協議が行われ、最終的には、前指定管理者が独自に支出し整備したと主張するもので、支払伝票等の裏づけがあるものについては、減価償却資産の耐用年数表に基づき平成22年3月31日現在の未償却残高を算定し、耐用年数が終了しているものについては、残存価額で算定がなされた。また、裏づけ資料が確認できないものについては、管財業者の査定評価により支出金額の妥当性を確認した上で、平成22年3月31日現在の償却残額の算定がなされ、このたび市と前指定管理者との協議が整った。

◎委員 現指定管理者との間では、このような問

題は起きないのか。

◆執行部 現指定管理者との協定書においては、償還請求をすることができないことなどの条文を設けており、今回のようなことは発生しない。



**議会活性化特別委員会
審議のあらまし**

議案第128号

「高梁市議会政務活動費の交付に関する条例」

この条例は、「地方自

「お詫びと訂正」

「高梁市議会だより第12号」に掲載漏れ箇所がありましたので、お詫びして訂正させていただきます。

7ページ 田中広二議員一般質問(1段目～2段目)－前文(質問)－

田中 市民利益と市長の属人的な退職金は別件である。退職金の半額の手続きができないならばできないことを明らかにし、市民に理解を得るべきではないか。

－掲載漏れ市長答弁－

市長 私は、あくまでも受け取る退職金を半分にすることをマニフェストに公約として掲げさせていただいた。これは約束であり、守らせていただこうと考えている。なお、その方法については検討中であり、お任せいただきたい。

治法の一部を改正する法律案」が平成24年8月に可決成立したことに伴い、高梁市議会政務活動費の交付に関する条例を制定するものです。

今回の改正により名称を「政務調査費」から「政務活動費」に改称し、交付の名目を「議会の議員の調査研究その他の活動に資するため」に改める

こと。政務活動費を充てることができる経費の範囲について、条例で定めなければならないものとする。また、議長は政務活動費については、その用途の透明性の確保に努めるものとされました。

委員会の審議では、政務活動費の透明性を確保するため、政務調査費と同様に収支報告書に領収書の写しを添付することや収支報告書を議会ホームページで公開することを確認しました。また、用途基準を今年度中に定めることとしました。

なお、交付金額は現行の政務調査費と同額(月額3万円)としています。

贈らない! 求めない! 受け取らない!



寄付行為等の 禁止について

公職選挙法により、政治家が選挙区内で寄付行為等を行うことは禁止されています。このため、市議会議員はお中元・お歳暮などを贈ったり、地域の行事に差し入れや祝儀を出すことはできません。選挙区内に暑中見舞いや年賀状を出すことも禁止されています。

また市民から市議会議員に対して、寄付を出すよう勧めたり、要求したりすることも禁止されています。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

筑西市 友好親善交流会



高梁国際ホテルでの交流会

昨年11月、友好都市縁組を結んでいる茨城県筑西市の吉澤市長と堀江議長を初めとした議員団17名が本市を訪れ、お互いの市の現状や取り組みについて情報交換を行いました。筑西市とは、備中松山藩主の水谷勝隆が元下館藩主であったことが機縁となり、旧下館市のときから友好都市として交流が行われています。

編集後記

例年になく厳しい寒さが続いておりますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。昨年の市議会改選を受けて、議会だよりの編集子も、新人議員3名を加えた7名体制で新たなスタートを切ることとなりました。メディアの進化によって、情報発信のあり方も活字から映像へと、その重要性を移す今日ですが、であればこそ、活字のよさを再認識したいものです。議会の出来事をわかりやすく市民の皆さんに伝えるために、紙面構成に新しい企画を盛り込みながら、関心をもつて読んでいただくことのできる議会だよりを目指したいと思っております。編集子一同、力を合わせて頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

(宮田公人)

表紙写真を 募集しています!!

高梁市議会広報調査特別委員会では、年4回(5月、8月、11月、2月)議会だよりを発行しています。身近な議会だよりとなりますよう、市民の皆様から表紙の写真を募集いたしております。なお、今回は5月15日号の表紙写真を募集します。

★募集写真のテーマ

高梁市の四季折々の風景、名所、地域行事など

★応募方法

1. 作品には、題名、撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号をご記入ください。
2. 直接議会事務局へお持ちいただくか、郵送でお願いします。デジタルデータの場合は議会事務局へご相談ください。(ただし、画像処理したものは不可)

【議会広報調査特別委員会】

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
宮田	宮田	川上	森田	石部	石田	石井
公人	好夫	博司	仲一	誠	芳生	聡美

★ご意見はこぼらまで

高梁市議会事務局

高梁市松原通2043

☎08666-210276